

『地震を想定した避難訓練について』

- ・ 『大阪 880 万人訓練』は、「南海沖を震源とする大規模地震が発生」したことを想定し、津波も含めてどのように対応するのかを目的に実施しています。
- ・ 『南海トラフ巨大地震』が今後 30 年以内に発生する確率は、皆さんもご存じの通り 70～80%と言われています。南海沖では、概ね 100 年～150 年の間隔で津波を伴う大規模災害が発生しており、前回は 1944 年に『昭和東南海地震』、1946 年に『昭和南海地震』が発生し約 80 年が経過したことから次の巨大地震発生の可能性が高まってきているということになります。
- ・ 夏休み中の 8 月 8 日に九州（宮崎県）で発生した地震をきっかけに南海トラフ巨大地震『臨時情報』が初めて発表されましたが、今回のレベルは『巨大地震注意（想定震源域内で M7.1 以上）』であったのに対して、将来的には『巨大地震警戒（想定震源域内で M8.0 以上）』という高いレベルでの『臨時情報』が発表される可能性もありますので、その違いについても皆さんは知っておいてください。
- ・ 「仮に、震度 7 程度の大規模地震が北区を襲ったらどれだけの被害が発生するのか」については、皆さんの家庭に北区役所から配付されているピンク色の『大阪北区ジシン本』に分かりやすく書かれていますので、ぜひ見ておいてください。
- ・ 大地震の場合は、家の中の家具が倒れてきたり、テーブルや台の上に置いてあるテレビなどの電化製品などが飛んできたりするようなこともあります。
- ・ いつも地震の訓練時には必ずお伝えしていますが、皆さんのお家の寝室に倒れてくるような大きな家具や飛んできそうな電化製品などは置いていませんか。置いている場合は、金具などで固定するなどの対策が必要です。
- ・ 30 年前の『阪神淡路大震災』は早朝(5:46)に発生したため、寝ている状態で家具の下敷きとなり亡くなった方が多くいました。この訓練を機会に、今一度、お家の中を見直し、家族で話し合ってみてください。
- ・ また、皆さんはずっと北区で生活をしているわけではありません。仮に、家族旅行で四国地方や和歌山県などの太平洋側に出かけていた場合などは、場所によっては 10m 以上の津波が想定されています。
- ・ 10m を超えるような津波に襲われると、学校の校舎の場合、2 階・3 階あたりの高さでは、完全に流されてしまうことになります。

- ・ 今、住んでる地を離れた時も、大地震による津波発生の可能性のある場合は「できる限り高い所に逃げる」が基本になることや、あわせてどこに避難すべきかを前もって確認しておくことがとても大切なことです。
- ・ 地震以外の自然災害についてですが、8月・9月になると日本では台風や大雨による被害が例年多くなります。統計では、発生した台風が日本列島へ上陸する可能性は8月よりも9月の方が高いようです。
- ・ 日本には、『二百十日（にひゃくとおか）』という言葉があります。立春(2月4日頃)から数えて210日目にあたる9月1日頃に台風の被害が多くなっており、また、101年前に『関東大震災』が発生した日であることから9月1日は『防災の日』と定められています。
- ・ 今回、日本列島に上陸した台風10号には『サンサン』（香港の少女の名前が由来）という名前がついています。当初、台風の名前はアメリカが人名から名付けていましたが、2000年からは日本や中国を含む14か国が加盟する台風委員会がアジア名をつけることになり、各国から10個の名称（日本：テンビン・ヤギ・ウサギ・クジラ・トカゲなど）が提案され、それらを決められた順番に沿って名付けているようです。ちなみに、新しく発生した台風11号は、日本が提案した“ヤギ”だそうです。
- ・ 近年、各地で大規模な台風や集中豪雨、長期の大雨など日本各地で頻繁に風水害が起こる時代となり、今回の台風10号では暴風の被害とあわせて、大雨による洪水の被害などが全国各地で発生しました。北区においても“よそ事”ではなく、北区は北・南・東の三方が川に囲まれ、風水害の被害を受けやすい状況にあります。
- ・ 学校の横を流れる大川のほとりに『水防碑』と書かれた石碑がありますが、この碑の裏側には「北区は、これまで台風に伴う高潮により、幾多の水害に見舞われてきました。北区に住む皆さんが、防災の意識を持ち続けられることを願ってこの碑を建立しました。」という内容のことが書かれています。また、44年前に建てられた石碑の表には「災害は忘れたころにやってくる」と刻まれており、先人の教えを今後も大切に守っていく必要があると感じています。
- ・ 「備えあれば憂いなし」という故事（昔から伝わるいわれ）にあるように、「日頃からいざという時の準備を怠らなければ、万が一の事態が発生しても心配することはない」という意味ですが、防災・減災のためにある戒め・教訓であるように感じます。
- ・ 最後に、今回の880万人訓練のポスターには「もしもの時に、命を守るための訓練」と書かれています。もしもの時に、自分自身のいのちを、そして他者のいのちを守れることを願います。以上で私の話は終わります。